



2022年10月3日

各位

会社名株式会社レアジョブ  
代表者名代表取締役社長 中村 岳  
(コード番号：6096 東証プライム市場)  
問合わせ先執行役員 CSO 坪内 俊一  
(TEL 03-5468-7401)

### 子会社の異動を伴う株式の取得及び特定子会社の異動に関するお知らせ

当社は、2021年9月21日付「株式会社ボーダーリンクとの資本業務提携に関するお知らせ」で公表しましたとおり、2021年10月1日付で株式会社ボーダーリンク（以下、「ボーダーリンク」といいます。）と資本業務提携契約を締結し、同社の発行済株式の49.00%を取得し、持分法適用会社としておりました。ボーダーリンクの株主である株式会社ウィルグループ（以下、「ウィルグループ」といいます。）との株主間契約において、2023年4月1日以降に行行使可能な当社のコールオプション及びウィルグループのプットオプションを規定しておりましたが、本日開催の取締役会において、2023年4月1日付でウィルグループが保有するボーダーリンクの全株式を追加取得し、同社を完全子会社化することを決議しましたので、お知らせいたします。

なお、ボーダーリンクに対する出資の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当するため、同社は当社の特定子会社に該当することもあわせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式の取得の理由

当社グループは「Chances for everyone, everywhere.」をグループビジョンに掲げ、グローバルに人々が活躍する基盤を作ることを目指しており、インターネットを活用して時間や場所を選ばず、低価格で受講できるマンツーマンのオンライン英会話サービス「レアジョブ英会話」を中心に事業展開しております。また、個人だけでなく、法人や教育機関へのサービス提供も行っており、教育機関向けサービスを展開する文教事業においては、「将来グローバルに活躍できる人材を生み出すこと」の実現に向けて事業拡大を進めております。

当社及びボーダーリンクは、2021年10月1日に締結した資本業務提携により、相互の事業拡大に向けて、主に以下の取り組みを進めてまいりました。

#### (1) ボーダーリンクのALT事業拡大

- ・ ボーダーリンクのALT派遣事業拡大に向け、当社グループの英語関連事業の講師をALT講師として提供する。
- ・ 夏季・冬季期間におけるALT講師の休業期間において、当社グループが運営する英語関連事業の講師として、ボーダーリンクがALT講師を提供する。

#### (2) 新サービスの開発

- ・ 行政が推進するICT（情報通信技術）教育の時流に乗った業務受託等、新サービス開発を目的とした相互協力。
- ・ 当社グループの英語関連事業の講師とボーダーリンクが運営するオフラインの子供向け英会話スクールとを組み合わせた新サービス開発を目的とした相互協力。
- ・ 顧客基盤の共有、教育機関への共同営業、相互のサービス販売等の営業支援。

(3) 両社のシナジー創出に向けた人材交流

- ・ 事業シナジー創出に向けた、相互の人材交流（従業員含む）。

当社グループが中期経営計画の達成、その先にあるグループビジョンの実現を目指すにあたり、文教事業の拡大は不可欠であり、その拡大にはボーダーリンクが有する ALT 派遣事業の知見や顧客基盤を全面的に共有・活用していくことが必要であると考えておりました。両社の事業シナジーをより効率的・効果的に創出すべく、連結子会社化を想定したうえで、2021 年 10 月に資本業務提携契約書を締結し、上記取り組みを進めてまいりましたが、両社の事業シナジーが創出され、ボーダーリンクの企業価値向上に資することができると判断したため、2023 年 4 月 1 日をもって前述のコールオプションを行使し、ボーダーリンクの株式を追加取得し、完全子会社することを決定いたしました。

※本取引の内容の詳細については、別紙をご参照ください。

## 2. 異動する子会社の概要

(2022年3月末時点)

(1) 名 称	株式会社ボーダーリンク		
(2) 所 在 地	埼玉県さいたま市大宮区下町二丁目 16 番地 1		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 安井 康真		
(4) 事 業 内 容	ALT の人材派遣、英会話スクールの運営		
(5) 資 本 金	91,000 千円		
(6) 設 立 年 月 日	2000 年 2 月 29 日		
(7) 大株主及び持株比率	株式会社ウィルグループ (51.00%) 当社 (49.00%)		
(8) 当社との関係等	資 本 関 係	当社の持分法適用会社です。	
	人 的 関 係	当社取締役 1 名が取締役を兼任しております。	
	取 引 関 係	資本業務提携契約を締結しております。	
	関連当事者への該当状況	当社の持分法適用会社であり、関連当事者に該当します。	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態 (単位: 千円)			
決 算 期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
純 資 産	256,438	342,796	282,013
総 資 産	485,269	719,751	567,827
1 株当たり純資産 (円)	58,017.75	77,555.69	63,804.00
売 上 高	1,829,853	2,576,733	2,602,340
営 業 利 益	105,962	236,145	181,181
経 常 利 益	109,509	242,082	188,345
当 期 純 利 益	69,467	155,822	120,022
1 株当たり当期純利益 (円)	15,716.59	35,253.94	27,154.31
1 株当たり配当金 (円)	6,500	44,466	27,154

## 3. 株式取得の相手先の概要

(2022年3月末時点)

(1) 名 称	株式会社ウィルグループ		
(2) 所 在 地	東京都中野区本町一丁目 32 番 2 号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大原 茂		
(4) 事 業 内 容	人材派遣、業務請負、人材紹介を主とする人材サービス事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務		
(5) 資 本 金	21 億 63 百万円		
(6) 設 立 年 月 日	2006 年 4 月 3 日		
(7) 純 資 産	連結 13,121 百万円 (単体) 12,420 百万円		
(8) 総 資 産	連結 52,350 百万円 (単体) 21,555 百万円		
(9) 大株主及び持株比率	池田 良介 (18.40%) 大原 茂 (7.80%) 株式会社池田企画事務所 (7.47%)		
(10) 当社との関係等	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

4. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	2,166株 (議決権所有割合: 49.00%)
(2) 取得株式数	2,254株
(3) 取得価額	ボーダーリンクの普通株式 969,000千円
(4) 異動後の所有株式数	4,420株 (議決権所有割合: 100.00%)

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2022年10月3日
(2) 契約締結日	2022年10月3日
(3) 株式取得日	2023年4月1日 (予定)

6. 今後の見通し

本株式取得により、ボーダーリンクは2024年3月期第1四半期から当社の連結子会社となる予定です。そのため、2023年5月公表予定の2024年3月期連結業績予想には同社の連結子会社化による影響額を織り込んで公表いたします。なお、2023年3月期の連結業績に与える影響はありません。

参考: 2021年9月21日付公表「株式会社ボーダーリンクとの資本業務提携に関するお知らせ」

以上

# 株式会社レアジョブ 株式会社ボーダーリンクの子会社化に関して

---

2022年10月3日

# サマリー

## 概要

2021年10月に株式会社ボーダーリンクの株式の49%を取得し、相互の事業拡大に向け協業してきた

さらなる事業拡大に向けて、残り51%の株式を取得し、完全子会社化する

- 株式取得の実行は2023年4月1日

## 目的

レアジョブグループにおける文教領域の事業領域拡大のため

- オンライン英会話から、オフライン（対面）での英語学習領域まで、事業を拡大させていく
- 事業シナジー
  - ALT派遣事業での競争優位性の獲得および子供向けオンライン英会話事業での販路拡大
  - 保育園・幼稚園や学童等への英語講師派遣+オンライン学習という、新サービスの提供

# ボーダーリンクのビジネスモデルと業績推移

## ビジネスモデル

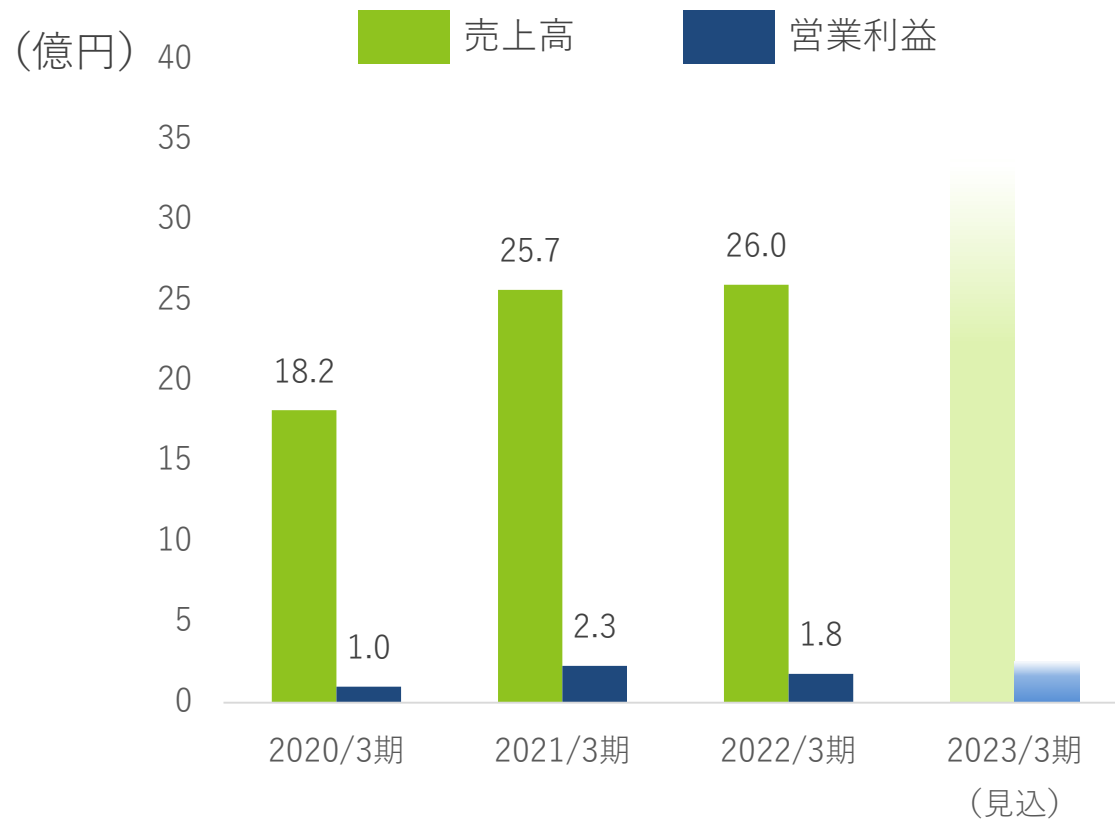
### 外国語 講師事業

- 公立の小中高等学校にALTを派遣
- 講師を国内外から採用
- ALTへの継続的な研修、労務管理、学校生活・指導に集中できるサポートを実施

### 語学 スクール 運営事業

- 0-12歳向けの英会話教室を運営
- 独自の探求・体験型プログラムを実施

## 業績推移



## レアジョブグループの文教事業で実現したいことと目指す姿

実現したい  
こと

将来グローバルに活躍できる人材を  
生み出すこと

目指す姿

- ① グローバルに活躍する人材となるために必要な教育の提供
- ② アセスメントを軸にしたデータに基づく教育の実現



## 文教領域における英語教育のトレンド(1/2)

ALT派遣市場は、学校教育における英語教育の拡大に伴い年率3%程度の成長を続けており、600億円程度まで成長している

市場規模の推移<sup>1)</sup>



英語教科が小学校3年生からへと低年齢化したことに伴い、ALTのニーズが拡大

中学・高校での英語についても、4技能を強化していく方針により、ALTニーズの拡大が見込まれる

出所:  
1) レアジョブ推計

## 文教領域における英語教育のトレンド(2/2)

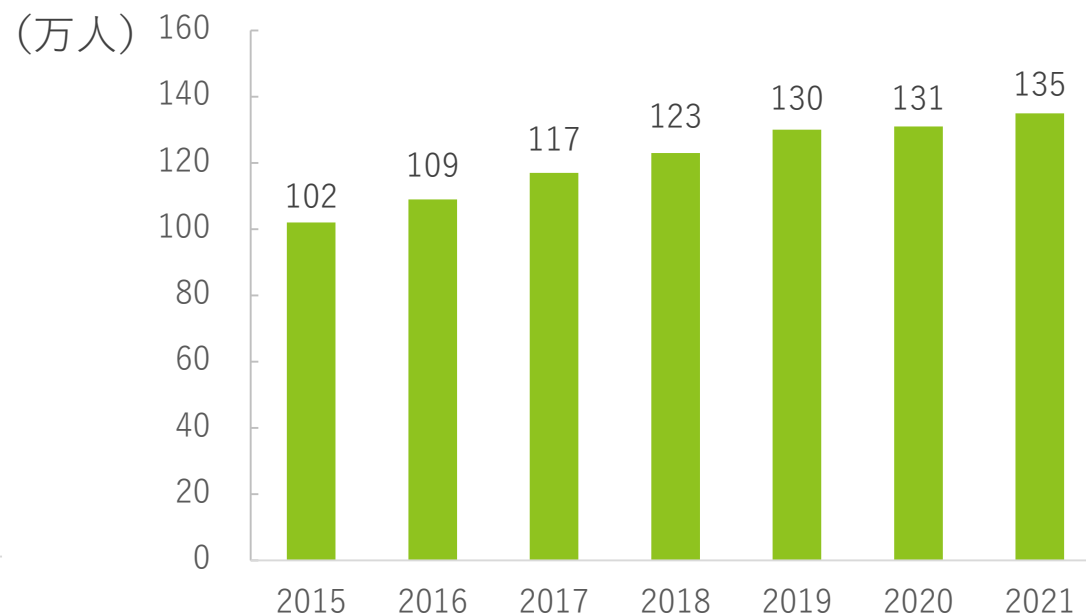
幼稚園・保育園、学童保育においても、英語教育のニーズが高まっている

保育園の待機児童数の推移<sup>1)</sup>



待機児童問題が解消に向かう中で、児童の集客のため、英語教育などの特色を打ち出していくことが求められる

放課後児童クラブ（学童）利用者数の推移<sup>2)</sup>



学童保育ニーズが高まる中、英語教育の低年齢化に伴い、英語教育サービス付きの学童を求める家庭が増加

出所:

1) 厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ（令和4年4月1日）」

2) 厚生労働省「令和3年（2021年）放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況」

# レアジョブグループが提供を目指す文教領域での英語教育

対面のみではなく、オンラインでの英語学習を組み合わせたブレンドドでの英語教育サービスを提供

## 今後の市場動向

## レアジョブグループが目指すアプローチ

ALT派遣  
市場

- 英語教育の拡張に伴いニーズは拡大
- タブレットが一人一台整備され、デジタルサービスを取り込んだ英語教育が志向されていく

保育園/  
幼稚園、  
学童市場

- 保育園/幼稚園では、集客のために英語サービスのニーズが高まるが、対面の講師だけでは、費用負担がネックになる
- 学童保育では、英語サービスを始め教育サービスが求められるが、英語の対面講師を配置するサービスは割高となることがネックになる

オンラインとオフライン（対面）を組み合わせたブレンドド英語教育を提供

- 対面の講師よりも廉価なサービス設計が可能
- 講師派遣を定常的に行うことが難しい地方でも、サービス提供が可能

## レアジョブグループが目指す英語教育実現に向けて

ブレンデッド英語教育実現に向け、レアジョブグループのオンライン英語教育ノウハウとボーダーリンクのALT派遣人材と派遣ノウハウを組み合わせる



- オンライン英会話の運営ノウハウ
- オンライン英会話に特化した講師人材

+

- ALTとして、対面での英語教育を行える人材
- 教育機関への人材派遣ノウハウ

オンラインとオフライン（対面）を組み合わせたブレンデッド英語教育

## 文教事業でアクセスできる市場

子供向け英語教室市場1,000億円に加えて、ALT派遣、保育園、幼稚園、学童保育での英語教育市場の800億円の市場にアクセス

子供向け英会話教室市場<sup>1)</sup>

約1,000億円



ALT派遣市場、  
幼稚園/保育園/学童保育  
での英語教育市場<sup>2)</sup>

約800億円

出所:

1) 矢野経済研究所 「語学ビジネス徹底調査レポート 2022」

2) レアジョブ推計

## 注意情報

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社レアジョブ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

### お問い合わせ先

株式会社レアジョブ IR担当

MAIL : [ir@rarejob.co.jp](mailto:ir@rarejob.co.jp)